

1. **FD、MO、CD-R、EDI**のファイル仕様

項番	項 目	内 容									
1	作成単位	同一料金月、同一料金群でお客さま単位(会社コード)単位									
2	作成対象サービス	統合請求（専用線）									
3	FDサイズ	3.5インチ						CD-R	MO	EDI解凍時	
4	フォーマット形式	2HD		2DD		650 MB	128 MB	2HD		1.25 MB	1.44 MB
		1.25 MB	1.44 MB	640 KB	720 KB			1.25 MB	1.44 MB		
5	最大出力件数 （圧縮時）	3,000 レコード <sup>*</sup>		1,500 レコード <sup>*</sup>				3,000 レコード <sup>*</sup>			
		(24,000)		(12,000)		圧縮なし					
6	使用コード	MS-DOS：JISCコード <sup>*</sup> IBM：EBCDICコード <sup>*</sup>						MS-DOS：JISCコード <sup>*</sup>			
7	レコード長	MS-DOS：固定長。512バイト+2バイト （復帰、改行コード <sup>*</sup> が付加されます） IBM：固定長。512バイト						MS-DOS：固定長。512バイト+2バイト （復帰、改行コード <sup>*</sup> が付加されます）			
8	ファイル形式	MS-DOS：固定長テキストファイル形式。 IBM：固定長ファイル形式。 （1枚に収容しきれない場合は、同一 ファイル名で、 複数枚作成します。）						MS-DOS：固定長テキストファイル形式。			
9	ファイル名	【FD、MO、CD-R】 E+会社コード <sup>*</sup> （会社コード <sup>*</sup> →弊社がお客さま識別 するために付与した識別コード5桁） 例：E12345 圧縮時：E+会社コード <sup>*</sup> +拡張子 例：E12345nn.exe（nn：FD作成通番。01～99） 【EDI】 W+請求回数（0～9）+請求年（西暦下2桁）+月（1～9、A、 B、C）+群（1～9、A～V）+通番（01～99）							データ保存時、お客様にて任意設定。		

## &lt;圧縮について&gt;

お客さま提供データの圧縮希望時は、フリーソフトウェアの「高圧縮管理プログラムLHA」を使用し、自己解凍形式(プログラム形式)で圧縮します。

## 【圧縮したデータの解凍手順】

- (1) 実行ファイル(拡張子.exeのファイル)をハードディスク等にコピーし、ダブルクリックします。
- (2) 実行ファイルが自動的にパケット番号別明細内訳書の各ファイルを読み出してファイルの復元を行います。

(\*フリーソフトウェア: 著作権は放棄されていないが、使用は自由なソフトウェア)

## 2. 請求データレコードの形式

V O L 1 ラベル	H D R 1 ラベル	H D R 2 ラベル	T・M (テープマーク)	請求データレコード1	請求データレコード2	請求データレコード3	〃	請求データレコードN	総合計レコード	T・M (テープマーク)	E O F 1 ラベル	E O F 2 ラベル	T・M (テープマーク)	T・M (テープマーク)
-------------	-------------	-------------	--------------	------------	------------	------------	---	------------	---------	--------------	-------------	-------------	--------------	--------------

専用線 I D 単位	専用線 I D 単位	~	専用線 I D 単位	請求単位レコード
------------	------------	---	------------	----------

ヘッダレコード	データレコード	~	データレコード	トレーラレコード	ヘッダレコード	データレコード	~	データレコード	トレーラレコード	エンドレコード
計上事業所単位										
専用線 I D 単位										

※ 専用線 I D : 企業等コード ( 7 桁 ) + 付加コード ( 5 桁 )

## 3. データレコードフォーマット

## (1) 管理レコード

レコード区分 「01」	会社コード	予備	請求期別			媒体通番	網種別	媒体識別	請求回数	詳細群	予備
			年	月	群						
2	5	10	4	2	1	2	1	3	1	1	480

(512 桁)

## (2) ヘッダレコード

レコード区分 「11」	計上事業所コード	企業等コード	付加コード	会社識別コード	予備	作成年月日	請求年月	支払い期限	予備
2	8	7	5	1	156	8	6	8	3 1 1

(512 桁)

## (3) データレコード（専用線回線番号単位）

レコード区分 「12」	回線ID	地域区分コード	会社識別	予備	申込内容	開通年月日	承諾年月日	承諾番号	回線名・上位事業所名	回線名・下位事業所名	回線名・分岐名	回線名・分類名	回線名・回線番号	回線名・回線種類	回線名・回線符号コード	お客さま管理番号	合計金額	基本回線専用料
2	9	2	1	6	14	8	8	11	50	50	40	14	5	16	3	16	12	12

分岐回線専用料	分岐料	多重アクセス減額料	長期利用割引額	高額利用割引額	予備	機械専用料	配線設備専用料	回線終端装置専用料	その他の専用料	日割額	工事に関する費用	加減算額	消費税相当額	予備	予備	予備	予備	予備
12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	17

(512 桁)

## (4) トレーラレコード (計上事業所単位)

レコード区分	合計金額	基本回線専用料	分岐回線専用料	分岐料	多重アクセス減額料	長期利用割引額	高額利用割引額	予備	機械専用料	配線設備専用料	回線終端装置専用料	その他の専用料	日割額	工事に関する費用	加減算額	消費税相当額	延滞利息
「13」																	
2	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

回線数計	予備	予備	予備	予備	予備	予備
7	12	12	12	12	249	2

(512 桁)

## (5) エンドレコード (専用線 I D 単位)

レコード区分	合計金額	基本回線専用料	分岐回線専用料	分岐料	多重アクセス減額料	長期利用割引額	高額利用割引額	予備	機械専用料	配線設備専用料	回線終端装置専用料	その他の専用料	日割額	工事に関する費用	加減算額	消費税相当額	延滞利息
「21」																	
2	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12

予備	予備	予備	回線数計	予備	予備	予備	予備	予備	予備
7	1	7	7	12	12	12	12	234	2

(512 桁)

(6) 請求単位レコード（ご請求番号単位）

レコード区分	ご請求番号	予備	口座振替			ご請求番号合計金額	ご請求番号合計請求件数	予備
			金融機関コード	口座区分	口座番号			
2	10	5	7	1	7	10	5	4 6 5

(512 桁)

(7) 会社合計レコード

レコード区分	会社コード	予備	会社合計		予備
			請求額	請求件数	
2	5	10	10	5	4 8 0

(512 桁)

## 4. データレコード内容

## (1) 管理レコード

項番	項目名		区別	桁数	内 容
1	レコード区分		数字	2	ALL「01」
2	会社コード		文字	5	弊社がお客さま単位に設定した番号 例：30009
3	予備		文字	10	
5	請求期別	年	文字	4	西暦4桁で記録
6		月	文字	2	「01」～「12」
7		料金群	文字	1	「1」～「6」 詳細は、コード表「項番5、料金群、詳細群」参照
	媒体通番		文字	2	同一のデータで出力した媒体数の番号 「01」～「99」
8	網種別		文字	1	「3」…専用線
9	媒体識別		文字	3	FDの場合…「FD△」 EDIの場合…「EDI」 MOの場合…「MO△」 CD-Rの場合…「CDR」 ビリングステーション（注1）をご契約の場合…「BS△」
10	請求回数		文字	1	同一請求番号で、同一月内に請求書発行した回数（料金群変更時等）、 *再発行は対象外
11	詳細群		文字	1	詳細群を「A」～「V」、「0」～「9」で設定。詳細はコード表「項番5、料金群・詳細群」参照
12	予備		文字	480	

（注1）：ビリングステーションとは、電話等サービスの「料金・通話明細データ」を専用 Web サーバーからダウンロードできるオンラインサービスです。

## (2) ヘッダレコード

項番	項 目 名	区別	桁数	内 容
1	レコード区分	数字	2	「11」
2	計上事業所コード	文字	8	NTT管轄事業所コード
3	企業等コード	文字	7	企業等コード（専用線ID番号の前7桁）
4	付加コード	文字	5	付加コード（専用線ID番号の後5桁）
5	会社識別コード	文字	1	ご利用料金毎の会社識別コードを設定。 “3” = NTTコミュニケーションズ 株式会社
6	予備	文字	156	
7	作成年月日	数字	8	作成年月日を西暦で記録。 YYYYMMDD 例：2000年 1月 1日の場合、 → “20000101”
8	請求年月	数字	6	ご請求年月を西暦で記録。 YYYYMM 例：2000年 1月請求分の場合、 → “200001”
9	支払い期限	数字	8	お支払い期限日を西暦で記録。 YYYYMMDD 例：お支払い期限が、 2000年1月31日の場合、 → “20000131”
10	項 目 名	文字	311	

## (3) データレコード（専用線回線番号単位）

項番	項目名	区別	桁数	内 容
1	レコード区分	数字	2	「12」
2	回線ID	文字	9	専用線回線番号
3	地域区分コード	文字	2	当該専用線の計上事業所コードの前2桁。注)
4	会社識別	文字	1	ご利用料金毎の会社識別コードを設定。 NTTコミュニケーションズ*ご利用料金分は、「3」
5	予備	文字	6	
6	申込内容	漢字	14	新規申込、移転時のみ出力。
7	開通年月日	文字	8	YYYYMMDD 例：2000年12月31日 → 20001231 新規申込、移転時のみ出力。
8	承諾年月日	文字	8	YYYYMMDD 例：2001年12月31日 → 20011231 新規申込、移転時のみ出力。
9	承諾番号	数字	11	新規申込、移転時のみ出力。
10	回線名：上位事業所名	漢字	50	回線の上位（起点）事業所名。
11	回線名：下位事業所名	漢字	50	回線の下位（終点）事業所名。
12	回線名：分岐名	漢字	40	分岐事業所名
13	回線名：分類名	漢字	14	品目名称
14	回線名：回線番号	数字	5	回線番号
15	回線名：回線種類	漢字	16	回線種別名
16	回線名：回線符号コード	数字	3	符号コード
17	お客さま管理番号	文字	16	お客さまが任意に設定した番号。
18	合計金額	数字	12	該当回線単位の合計金額 ・ マイナス金額の場合、符号付編集（コード表「項番4、 内訳額マイナス時の記録形式について」参照）
19	基本回線専用料	数字	12	該当回線の基本回線専用料
20	分岐回線専用料	数字	12	該当回線の分岐回線専用料
21	分岐料	数字	12	該当回線の分岐料
22	多重アクセス減額料	数字	12	該当回線の多重アクセス減額料
23	長期利用割引額	数字	12	該当回線の長期利用割引額
24	高額利用割引額	数字	12	該当回線の高額利用割引額
25	予備	文字	12	
26	機械専用料	数字	12	該当回線の機械専用料
27	配線設備専用料	数字	12	該当回線の配線設備専用料
28	回線終端装置専用料	数字	12	該当回線の回線終端装置専用料
29	その他の専用料	数字	12	該当回線のその他専用料
30	日割額	数字	12	該当回線の日割額
31	工事に関する費用	数字	12	該当回線の工事に関する費用
32	加減算額	数字	12	該当回線の加減算額
33	消費税相当額	数字	12	該当回線の消費税相当額
34	予備	文字	12	
35	予備	文字	12	
36	予備	文字	12	
37	予備	文字	12	
38	予備	文字	17	

注) 全国一括請求の場合は、「地域区分コード」を「25」で出力いたします。

注) 漢字を出力する項目（区別欄が“漢字”）は、DBCSコードとしてJEFコード（2バイト1文字）を使用しています。



## (4) トレーラレコード (計上事業所単位)

項番	項目名	区別	桁数	内 容
1	レコード区分	数字	2	「13」
2	合計金額	数字	12	計上事業所単位の合計金額
3	基本回線専用料	数字	12	計上事業所単位の基本回線専用料
4	分岐回線専用料	数字	12	計上事業所単位の分岐回線専用料
5	分岐料	数字	12	計上事業所単位の分岐料
6	多重アクセス減額料	数字	12	計上事業所単位の多重アクセス減額料
7	長期利用割引額	数字	12	計上事業所単位の長期利用割引額
8	高額利用割引額	数字	12	計上事業所単位の高額利用割引額
9	予備	文字	12	
10	機械専用料	数字	12	計上事業所単位の機械専用料
11	配線設備専用料	数字	12	計上事業所単位の配線設備専用料
12	回線終端装置専用料	数字	12	計上事業所単位の回線終端装置専用料
13	その他の専用料	数字	12	計上事業所単位のその他専用料
14	日割額	数字	12	計上事業所単位の日割額
15	工事に関する費用	数字	12	計上事業所単位の工事に関する費用
16	加減算額	数字	12	計上事業所単位の加減算額
17	消費税相当額	数字	12	計上事業所単位の消費税相当額
18	延滞利息	数字	12	オール0
19	回線数計	数字	7	計上事業所単位の専用線回線数合計
20	予備	文字	12	
21	予備	文字	12	
22	予備	文字	12	
23	予備	文字	12	
24	予備	文字	249	
25	予備	文字	2	

## (5) エンドレコード (専用線 I D 単位)

項番	項 目 名	区別	桁数	内 容
1	レコード区分	数字	2	「21」
2	合計金額	数字	12	専用線 I D 単位の合計金額
3	基本回線専用料	数字	12	専用線 I D 単位の基本回線専用料
4	分岐回線専用料	数字	12	専用線 I D 単位の分岐回線専用料
5	分岐料	数字	12	専用線 I D 単位の分岐料
6	多重アクセス減額料	数字	12	専用線 I D 単位の多重アクセス減額料
7	長期利用割引額	数字	12	専用線 I D 単位の長期利用割引額
8	高額利用割引額	数字	12	専用線 I D 単位の高額利用割引額
9	予備	文字	12	
10	機械専用料	数字	12	専用線 I D 単位の機械専用料
11	配線設備専用料	数字	12	専用線 I D 単位の配線設備専用料
12	回線終端装置専用料	数字	12	専用線 I D 単位の回線終端装置専用料
13	その他の専用料	数字	12	専用線 I D 単位のその他専用料
14	日割額	数字	12	専用線 I D 単位の日割額
15	工事に関する費用	数字	12	専用線 I D 単位の工事に関する費用
16	加減算額	数字	12	専用線 I D 単位の加減算額
17	消費税相当額	数字	12	専用線 I D 単位の消費税相当額
18	延滞利息	数字	12	専用線 I D 単位の延滞利息
19	予備	文字	7	スペース又は英数字
20	予備	文字	1	スペース又は英数字
21	予備	文字	7	スペース又は英数字
22	回線数計	数字	7	専用線 I D 単位の専用線回線数合計
23	予備	文字	12	
24	予備	文字	12	
25	予備	文字	12	
26	予備	文字	12	
27	予備	文字	234	
28	予備	文字	2	

## (6) 請求単位レコード (ご請求番号単位)

項番	項 目 名	区別	桁数	内 容
1	レコード区分	数字	2	「8 1」
2	ご請求番号	数字	10	請求書作成番号を設定。 例：“0001234567” (上3桁“000”固定)
3	予備	文字	5	
4	口座振替	金融機関コード	7	口座振替の場合、金融機関コードを設定。
5		口座区分	1	口座振替の口座区分。1＝普通 2＝当座
6		口座番号	7	口座振替の口座番号を設定。
7	ご請求番号合計金額	数字	10	ご請求番号単位の請求額合計。
8	ご請求番号合計請求件数	数字	5	ご請求番号単位の専用線回線数。
9	予備	文字	465	

## (7) 会社合計レコード (会社コード単位)

項番	項 目 名	区別	桁数	内 容
1	レコード区分	数字	2	「9 1」
2	会社コード	数字	5	弊社がお客さま単位に設定した番号。 例：“30009”
3	予備	文字	10	スペース又は英数字。
4	会社合計請求額	数字	10	会社コード単位の請求額合計。 例：1000000円の場合、 →“0001000000”
5	会社合計請求件数	数字	5	会社コード単位の専用線回線数 例：100回線の場合、 →“00100”
6	予備	数字	480	

## 5. 請求金額等の記録形式について

金額表示は、下1桁をサイン（符号）付数字で出力します。

(ASCIIコード)

金額例	16進法表示	キャラクタ表示
+10	317 <u>B</u>	1 <u>I</u>
+11	314 <u>1</u>	1 <u>A</u>
+12	314 <u>2</u>	1 <u>B</u>
+13	314 <u>3</u>	1 <u>C</u>
+14	314 <u>4</u>	1 <u>D</u>
+15	314 <u>5</u>	1 <u>E</u>
+16	314 <u>6</u>	1 <u>F</u>
+17	314 <u>7</u>	1 <u>G</u>
+18	314 <u>8</u>	1 <u>H</u>
+19	314 <u>9</u>	1 <u>I</u>
-10	317 <u>D</u>	1 <u>J</u>
-11	314 <u>A</u>	1 <u>J</u>
-12	314 <u>B</u>	1 <u>K</u>
-13	314 <u>C</u>	1 <u>L</u>
-14	314 <u>D</u>	1 <u>M</u>
-15	314 <u>E</u>	1 <u>N</u>
-16	314 <u>F</u>	1 <u>O</u>
-17	315 <u>0</u>	1 <u>P</u>
-18	315 <u>1</u>	1 <u>Q</u>
-19	315 <u>2</u>	1 <u>R</u>